海外レポート	**インド　ベンガルール**

「タミルナドゥ州の Global Investors Meet (GIM)参加報告」

田中　啓介

＜Global Investors Meet (GIM)とは？＞

2024 年 1 月にチェンナイで開催されたタミルナドゥ州の Global Investors Meet (GIM) 2024 は、タミルナドゥ州政府によって主催され、九つのパートナー国と 30 以上の国が参加しました。GIM は、2024 年 1 月 7 日と 8 日にチェンナイトレードセンターで開催され、これまでと同様、大規模な投資機会とビジネスネットワーキングの場として注目され、450 以上の国際代表団、170 人の講演者が参加しました。会議の主な目的は、タミルナドゥ州を 1 兆ドル経済へと導くことであり、これに向けたビジョンと戦略が提示されました。

＜タミルナドゥ州が目指すビジョン＞

GIM 2024 では、INR（インド・ルピー）60,000 クロール（約 7.5 億ドル）の投資が誘致され、50,000 人の雇用が創出されると予測されています。会議では、新たなセミコンダクターと先進エレクトロニクス政策が発表され、この分野への投資を促進し、タミルナドゥ州が 2030 年までにインドの電子製品輸出の 40%を占めることを目指していると発表されました。この政策は、2030 年までにこのセクターの技能のある労働力を 200,000 人に増やすことを目標としています。

また、Hyundai（ヒュンダイ、韓国）は EV 製造、充電インフラ、および州内の技能開発に注力しています。Qualcomm（クアルコム、米国）はチェンナイに新しいデザインセンターを開設し、1,600 の職を創出する予定です。Reliance Industries（リライアンス・インダストリーズ、インド）は、再生可能エネルギーとグリーンハイドロジェンプロジェクトに新たな投資を行うことを発表しました。

＜パートナー国として参加した日本＞

日本はパートナー国として参加しており、JETRO が主導するパビリオンとしての展示では、いすゞモーターやヤマハ発動機、コマツ、三菱電機などの日本企業が出展をしました。また、日本セッションでは 2023 年 11 月にタミルナドゥ州政府と経済交流に関する覚書を更新・再締結した広島県を筆頭に、大阪府や高知県の代表団が参加しました。また、高知県商工労働部とガイダンス・タミルナドゥの経済交流等に関する覚書が交換されるなど、GIM を通じて日本の地方自治体とタミルナドゥ州との間で国際的な協力と投資促進に向けた交流がなされ、両者にとってグローバルな経済パートナーとしての地位を強化する大きな機会となったのではないかと感じます。

（出所：広島県代表団および著者による撮影）